

やまもも

青城小学校 学校だより

H 2 3 . 1 2 . 1 4

No. 8

宿 泊 訓 練 に 思 う こ と

校長 浦野 進一

紅葉のたよりに秋を感じていましたが、いつの間にか西高東低の天気図が多くなり、冬支度が急がれる時期になってきました。学校では、2学期も残りわずかとなり、22日が終業式、そして23日から14日間の冬休みに入ります。各学級では、2学期のまとめをきちんとし、充実した冬休みが迎えられるように事前指導をしていきます。御家庭でも、冬休みの過ごし方がんばりたいことなど、話題にあげていただければと思います。



今月に入って、5年生が浜松市(旧引佐町)にある観音山少年自然の家で2泊3日の宿泊訓練を行いました。天候にも恵まれ、山頂登山や冒険ラリーなどの活動プログラムを予定通り行うことができました。さらに、少年自然の家の所長さんや所員(教員)の皆さんから5年生の活動ぶりをたいへんほめていただき、とてもうれしい思いをしました。そこで、子どもたちと自然の中で過ごしてみて、自分が春野中学校(元 気多中学校)に勤務していた時に聞いた話を紹介します。

『もし、山の中で迷ったら、木の切り株を探してください。なぜなら、年輪の中心である芯の位置で、方角を知ることができるからです。よく見ると、どの木も年輪の芯は、北側に寄っていることがわかります。暖かい南風と太陽の光をいっぱい受けて育つ南側は、肉付きも良く、豊かに成長するから、それだけ年輪の幅が広がります。

それに比べて、寒い北風を受け、太陽の日のあたらない中で育つ北側は、寒さから身を守るために戦うことになります。だから、年輪の幅が狭く、年輪の芯が北側に寄っていくのです。

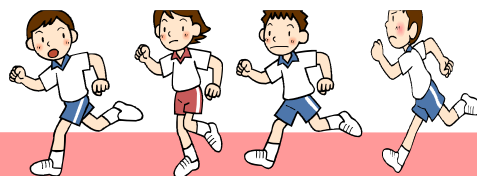
そのため、伐採されて材木として利用される時になると、太陽をいっぱい受けた南側は、床や壁の板になります。それに対して、北風をいっぱい受けて育った芯の寄った部分は柱になります。



このことは、私たち人間の生き方にも通じるものです。苦しい逆境を生き抜いた人間は、北風にさらされた部分と同じように、板でなく、柱になれるのです。家で言えば、大黒柱です。苦労したことは、決して無駄にはなりません。』

日々、いろいろな体験をする中、つらく苦しいことにも立ち向かって乗り越える人に育ってほしいと願っています。学校では私たち教職員が支援します。学校外においては、保護者や地域の皆さんの励ましをお願いいたします。

西風の中、みんながんばりました。



11月24日（木）に「持久走大会」を行いました。今年は、西風が気になる中での大会でしたが、子どもたちは精一杯自分の目標に向かって走りきりました。ボランティアの皆様には運営のお手伝いもしていただきました。ありがとうございました。

各学年のトップの児童を紹介します。

【女子】

1年	赤堀	杏紗さん	3分58秒
2年	島田	瀬菜さん	3分48秒
3年	山口	夏凜さん	5分15秒
4年	今坂	仁美さん	5分 5秒
5年	近藤	蒼空さん	8分54秒
6年	鈴木	麗鈴さん	7分43秒

【男子】

大杉	聖さん	3分47秒
渥美	輝大さん	3分29秒
山田	善さん	4分44秒
河合	翔太さん	4分25秒
齋藤	聖璃月さん	7分59秒
齋藤	琢真さん	7分44秒



1・2年生の保護者の皆様を対象に講演会を行いました。

12/1（木）に行った参観会・懇談会では、1・2年生の保護者の皆様を対象に「講演会」を開きました。今回は青城地区長の鈴木哲也さんのご紹介で「作法教室 朔心（さくみ）」を主宰されている水沼陽子さんをお招きしての講演会でした。「形から入って心を養う」をキーワードにお話だけでなく、実際に体を動かしながら作法を体験することができ、とても分かりやすいお話でした。保護者の皆様も60名以上の方がご参加くださいました。ありがとうございました。



薬学講座



毎年6年生を対象に「薬学講座」を実施しています。

今年も12/12（月）に、木の香薬局の栗原薬剤師さんにきていただき、お酒やタバコ、薬物が体に及ぼす悪影響についてお話をお聞きました。

子どもたちも真剣な表情でスクリーンに映る映像に見入っていました。

